

UreyukiBox ロードマップ — いま（v1）と これから

※ 本アプリは Shopify App Store で公開中です。下記「いま（v1）でできること」は、すべて現在提供中の機能です。

開発予定に関するご案内 「これから」の各項目は、提供時期・内容が変わる可能性があります。とくに③は Shopify 側が新 API を公開する時期に依存し、④は検討中です。ご契約・お申し込みのご判断は、**現在提供中の機能にもとづいて**行ってください。

v1 いま (App Store で公開中) できること

① Shopify から読み取りのみで同期 (商品・注文・在庫・入荷予定/毎朝1回・自動)

② 売れ行き+安全在庫・季節性・間欠需要・新商品の初回ロットまで含めた需要予測

③ 発注数量=補充目標 - 在庫 - 入荷予定 - 発注済み を自動計算

④ 在庫低下をメール/Slack/LINE でお知らせ

⑤ 適格請求書対応の注文書を下書き → PDF/CSV 出力・仕入先へメール送信

⑥ 「注文済みとしてマーク」で発注を確定 (二重発注を防止)

⑦ 「発注済み・入荷」で入荷を登録 (分納可)
 → 受け取った数量だけ Shopify の在庫に反映 (あなたが操作したときだけ)
 …翌朝また①へ (毎朝1回、自動でくり返し)

倉庫の物理オペレーション (v1 搭載済み・在庫への反映はすべて操作したときだけ)

在庫調整 (理由コード付き)・棚卸し (実在庫カウント)・拠点間の在庫移動

バーコード読取 (検品・棚卸し)・バーコードラベル印刷・同一SKUに複数の仕入先

実原価 (諸掛の按分)・利益/仕入先レポート・英語UI (2026年7月 搭載)

Stocky 移行 (4ステップウィザード・Free プランから可)

Step 1
説明を確認Step 2
認証情報を入力Step 3
取込みを待つStep 4
完了を確認

料金プラン (月額・税抜・円建て固定/為替による変動なし)

Free
¥0Starter
¥2,980Pro
¥5,980Business
¥12,800

有料プランは 14 日間の無料トライアル付き

これから (開発予定)

① 見える化・週次ダイジェスト

- ・「欠品まであと何日」「売り逃し金額」
- ・1週間のまとめレポートを自動でお届け

② 拠点ごとの発注管理の本格対応

- ・拠点別の発注点と、拠点単位の注文書 (拠点間移動・拠点別分析は搭載済み)

③ 純正の注文書と API 直接連携

- ・書き込み API 公開し次第 最優先で対応
- ・2026-07 に読み取りのみ先行公開

④ 会計ソフト連携 (検討中)

- ・freee・マネーフォワード・弥生 等
- ・順序・時期は未定

2026年7月に搭載 (旧④⑤⑥)

- ・仕入原価の精緻化 (landed cost)
- ・利益レポート・仕入先レポート
- ・英語 UI (管理画面の言語に追従)

※通知メール/Slack/LINE も
英語に対応しました

※ 提供時期・内容は変わる可能性があります。

v1 (現行・公開中) でできること

毎朝1回の自動サイクルで、発注の「気づく → 決める → 書類にする → 受け取る」までを一気通貫でお手伝いします（仕組みの詳しい図解は「05 仕組み図解」をご覧ください）。

- ・ **毎朝1回・自動**: Shopify から**読み取りのみ**で同期します（商品・注文・在庫・入荷予定）。同期が Shopify の在庫を書き換えることはありません。
- ・ **売れ行きの集計と需要予測**: 直近30日の販売実績から「1日あたりの販売ペース」を商品ごとに計算し、安全在庫・季節性（お中元・お歳暮・祝日）を加味した需要予測を出します。**たまにしか売れない商品（間欠需要）と販売実績のない新商品の初回ロット**にも対応し、**過去データでの精度検証（バックテスト）**も行えます。予測の根拠（補充目標 - 在庫 - 入荷予定）を画面でそのまま確認できます。
- ・ **発注数量の自動計算**: 「発注数量 = 発注点 - 今の在庫 - 入荷予定 - 発注済み」。入荷予定と発注済みを差し引くので二重発注になりません。
- ・ **お知らせ**: 在庫低下をメール/Slack/LINE でお知らせします（メールは Starter 以上、Slack・LINE は Pro 以上）。
- ・ **注文書**: 仕入先ごとに適格請求書対応の注文書を自動で下書きします（8%/10% 税区分・登録番号の印字・単価は手入力>Shopify原価>目安の順）。**PDF/CSV の出力に加え、アプリ内から仕入先へ直接メール送信**でき、「注文済みとしてマーク」→入荷登録まで**アプリ内で完結**します。Shopify 純正の注文書画面へ CSV インポートで引き渡すこともできます（併用時はどちらか一方で管理）。
- ・ **倉庫の物理オペレーション**: **在庫調整（理由コード付き）・棚卸し（実在庫カウント）・拠点間の在庫移動・バーコード読取（検品・棚卸し）・バーコードラベル印刷・同一SKUへの複数仕入先の登録**に対応しています。
- ・ **発注まわりの実務機能**: 最低発注数量（MOQ）・目標サービスレベル（統計的安全在庫）・仕入れ資金繰りカレンダー（Starter 以上）/在庫分析（評価額・ABC・デッドストック検知）・セット商品（BOM）の組立可能数（Pro 以上）/拠点別の配送先・在庫分析（Business）。

Shopify の在庫が変わるのはどんなときか（安全設計）

毎朝の同期は**読み取りのみ**で、在庫を書き換えることはありません。Shopify の在庫数が変わるのは、**あなたがアプリ内で操作したとき**だけです。具体的には次の4つです。

1. **入荷登録**で「Shopify の在庫に反映」を選んだとき（受け取った数量だけ）
2. **在庫調整**を登録したとき（破損・紛失などの理由コードとともに記録）
3. **棚卸し**を確定したとき（実在庫カウントとの差分）
4. **拠点間の在庫移動**を登録したとき（移動元と移動先の両方）

いずれも操作の前に内容を確認できます。自動処理や同期が勝手に在庫を書き換えることはないため、**アプリを入れたせいで在庫がずれる事故は構造上起きません。**

Stocky からの移行（4ステップウィザード・Free プランから可）

- 1. **Step 1** — 説明を確認する
- 2. **Step 2** — Stocky の認証情報を入力する
- 3. **Step 3** — 取り込みの完了を待つ
- 4. **Step 4** — 完了と取り込み件数を確認する

仕入先・発注書・在庫調整・税区分を、相互の関連を保ったまま自動で取り込みます。当方の原因で移行が完遂できなかった場合は、移行直後の請求月の利用料金を全額返金します（利用規約に明記）。

※ **Stocky を使っていなかったストアには、この移行ステップ自体が不要です。** インストールして在庫を同期するだけで、発注点の設定から注文書の作成までそのまま使い始められます。

料金プラン

プラン	月額（円建て固定・税抜）	想定規模の目安（商品数）
Free	無料	100 商品
Starter	¥2,980	1,000 商品
Pro	¥5,980	10,000 商品
Business	¥12,800	無制限

Free（無料）でも手動の注文書（インボイス対応）・在庫の見える化・Stocky 移行まで使えます。発注数量の自動計算・発注点管理・予測からの自動下書き・毎朝のメール通知は Starter 以上、Slack／LINE 通知は Pro 以上です。

有料プランは 14 日間の無料トライアル付き。料金は日本円の固定額で、Shopify のアプリ内課金として円額のまま請求されます（Shopify へのお支払い通貨が日本円のストアの場合。日本円以外のストアは、これに対応する米ドル額でのご請求になります）。Shopify App Store の掲載ページ上は、プラットフォームの仕様で USD の目安額が自動表示されます。価格は 2026-08-01 時点です。

これから（開発予定）の詳細

これからの開発が目指すのは、きれいな予測グラフではなく**「良い発注判断」**です——欠品（売り逃し）と過剰在庫（資金の寝かせすぎ）を同時に減らすこと。以下はそのための項目です。

「いま（v1）はどうしているか」とあわせてご覧ください。③は **Shopify が新 API を公開する時期に依存**し、④は**検討中**です。

#	これからの内容	いま（v1）はどうしているか	状態
①	見える化・週次ダイジェスト — 「欠品まであと何日」「売り逃し金額」の表示／1週間のまとめレポートの自動配信	ダッシュボードで在庫状況と発注が必要な商品を確認。在庫低下はメール／Slack／LINE で個別にお知らせ	開発予定
②	拠点ごとの発注管理の本格対応 — 拠点別に発注点を持ち、拠点単位で注文書を起こす	拠点間の在庫移動・拠点別の在庫分析・注文書の配送先（拠点）の切り替えは v1 搭載済み 。発注点は商品単位	開発予定
③	Shopify 純正の注文書との API 直接連携	CSV インポートでの連携（Shopify 純正の注文書画面で取り込み）。※Shopify 側の刷新で CSV 取り込み方式は将来変更・終了の可能性があります	Shopify が書き込み API を公開し次第 最優先で対応 — 「CSV 書き出し」を「API 受け渡し」へ差し替え（需要予測・注文書はそのまま。橋渡しの全体図は資料05）
④	会計ソフト連携（freee・マネーフォワード・弥生 等）	注文書は PDF／CSV で出力し、会計側へは手動で取り込み	検討中（順序・時期未定）

※ **以前ロードマップに掲げていた次の項目は、v1 に搭載済みです**： 需要予測の強化（新商品の初回ロット提案・間欠需要への対応・バックテスト）／仕入先への注文書メール送信／バーコード検品・棚卸し（スキャンでの受領・実在庫カウント）／在庫調整・拠点間の在庫移動・同一SKUへの複数仕入先／**仕入原価の精緻化（landed cost）**／利益レポート・仕入先レポート／英語 UI。

2026年7月に搭載された項目（旧ロードマップ④⑤⑥）

旧番号	内容	いまの状態
④	仕入原価の精緻化（landed cost） — 送料・関税・その他の諸掛を明細へ按分し、1個あたりの実原価を出す	搭載済み （Pro 以上）。配分は金額比／数量比を選べます。● 実原価は 表示のみ で、商品の原価には書き戻しません（明細を編集した瞬間に古くなるため）

旧番号	内容	いまの状態
⑤	利益レポート・仕入先レポート — 商品別の粗利、仕入先別の発注実績・平均リードタイム・納期の遵守率	搭載済み （Pro 以上）。期間を指定して表示します。 ● 原価が未設定の明細と売上が未同期の明細は 集計から除外し、その件数を画面に出します （原価未設定を粗利100%として混ぜないため）。原価は「現在の設定値」を使うため、過去の確定利益ではありません
⑥	英語 UI — アプリ画面・帳票の英語対応	搭載済み 。Shopify 管理画面の表示言語に自動で追従します（英語の管理画面なら英語で表示）。発注書 PDF・バーコードラベル・CSV も英語になります。 通知メール・Slack・LINE・仕入先宛の発注書メールも英語に対応 しました（2026年8月）＝こちらは管理画面の言語ではなく ストアの所在国 で決まります。サポートは日本語・英語

補足図 — Shopify 純正の注文書との連携（いま／これから）

いま（v1） — CSVインポートでの連携（純正画面での取り込み操作）



これから（新API公開し次第 最優先で対応） — APIでの直接連携



※ API直接連携は Shopify が新 API を公開し次第 最優先で対応します（Shopify 側の公開時期に依存）。

本資料の数値・プランは 2026-08-01 時点です。v1 の仕組みの詳しい図解は「05 仕組み図解」を、比較の根拠と出典（URL・確認日）は「02 比較表」の脚注をご覧ください。